

【アメリカ】 「アジア・太平洋諸島系米国人の文化遺産継承月間」 に関する上院決議

海外立法情報課 西住 祐亮

* 2015年5月21日、「アジア・太平洋諸島系米国人の文化遺産継承月間」の重要性を再確認する決議がヒロノ上院議員等により発案され、上院本会議で成立した。日系米国人についての言及も多いので、本決議の内容等を紹介する。

1 決議の発案者

2015年5月、米国はアジア・太平洋諸島系米国人による米国への貢献を称える「アジア・太平洋諸島系米国人の文化遺産継承月間 (Asian Pacific American Heritage Month)」を例年通り迎えた (注1)。これに伴い、5月21日には同月間の重要性を再確認する上院決議第185号が幾人かの上院議員により発案され、上院本会議で成立した (注2)。同決議の主要発案者は日系米国人のメイジー・ヒロノ (Mazie Hirono) 上院議員 (民主党、ハワイ州) である。その他、ハリー・リード (Harry Reid、民主党、ネバダ州)、ロバート・メネンデス (Robert Menendez、民主党、ニュージャージー州)、コーリー・ガードナー (Cory Gardner、共和党、コロラド州)、リチャード・ダービン (Richard Durbin、民主党、イリノイ州)、ダイアン・ファインスタイン (Dianne Feinstein、民主党、カリフォルニア州)、ブライアン・シャーツ (Brian Schatz、民主党、ハワイ州) など計18名の上院議員が共同発案者として名を連ねている (主要発案者を含めて民主党16名、共和党3名)。

2 決議前文の内容

本決議はまず前文の冒頭において、アジア・太平洋諸島系米国人が米国の歴史を豊かなものとしたこと、及び同集団の歴史と米国の道程が密接に結び付いた関係にあることを強調している。また本決議はアジア・太平洋諸島系米国人が多様性に富んだ共同体を構成していること、及び同集団が (他人種・他民族と比べて) 米国内で高い人口増加を示していることを統計の上で指摘している。

加えて本決議は5月が「アジア・太平洋諸島系米国人の文化遺産継承月間」に指定された歴史的背景についても言及し、日本からの初の移民が1843年5月7日に米国へ到着したことと、中国系移民の労働により建設された大陸横断鉄道が1869年5月10日に完成した史実を紹介している。更に本決議はアジア・太平洋諸島系米国人の中でも米政府や米軍への貢献度がとりわけ高かった人物として、上院仮議長を務めかつ大統領自由勲章も受賞したダニエル・イノウエ (Daniel Inouye) 元上院議員を筆頭に、ダリップ・シン・サウンド (Dalip Singh Saund、初のアジア系議員)、パッツィー・ミンク (Patsy T. Mink、有色人種からの初の女性議員かつ初のアジア系女性議員)、ハイラム・フォング (Hiram L. Fong、初のアジア系上院議員)、ダニエル・アカカ (Daniel K. Akaka、ハワイ先住民系からの初の上院

議員)、ノーマン・ミネタ (Norman Y. Mineta、初のアジア系閣僚)、イレーン・チャオ (Elaine L. Chao、初のアジア系女性閣僚) という7人の名を挙げている (注3)。

また本決議は本年がアジア・太平洋諸島系米国人を考える上で重要な節目の年であることも強調している。すなわち①アジア系移民を制限する政策からの転換点となった1965年移民国籍法の制定から50周年、②ヴェトナム戦争終結から40周年、③東南アジアから離散した共同体の移入から40周年、④エリソン・ショウジ・オニヅカ (Ellison Shoji Onizuka) がアジア系米国人として初めて宇宙での任務に就いてから30周年 (注4)、⑤5月を「アジア・太平洋諸島系米国人の文化遺産継承月間」とする法律にブッシュ大統領 (第41代) が署名してから25周年となることを本決議は指摘している。

加えて前文の末尾で本決議は、2015年現在のアジア・太平洋諸島系米国人が上下両院にまたがる議員連盟であるアジア・太平洋諸島系米国人コーカス (Congressional Asian Pacific American Caucus: CAPAC) を備えるなどあらゆる領域で活躍の場を広げていることに触れているが、他方で同集団による政治資源の獲得を確保する上で「やるべきことは依然として多々ある」とも指摘している。そして同月間を祝福することが、アジア・太平洋諸島系米国人の業績・貢献・歴史に対する認識を高め、かつ同集団が直面してきた難題を理解する機会を提供すると謳い、前文を締めくくっている。

3 決議本文 (全訳)

上院は、

- (1) 「アジア・太平洋諸島系米国人の文化遺産継承月間」として、及び米国の歴史に対するアジア・太平洋諸島系米国人の多大な貢献を祝福する意義深い時期として、「2015年5月」の重要性を認識する。
- (2) アジア・太平洋諸島系米国人の共同体が米国の多様性を豊かなものとし、かつ米国を強くしていることを認識する。

注 (インターネット情報は2015年7月17日現在のもの。[]は筆者による補足。)

- (1) 1978年10月の上下両院合同決議第1007号によって「アジア・太平洋諸島系米国人の文化遺産継承週間」が制定され、その後、1990年5月から「月間」に拡大されて現在に至る。
- (2) “Senate Resolution 185: Recognizing the significance of May 2015 as Asian/Pacific American Heritage Month and as an important time to celebrate the significant contributions of Asian Americans and Pacific Islanders to the history of the United States” 2015年5月21日付の連邦議会議事録を参照。 *The Congressional Record* (May 21, 2015) S3246-3247. <<http://www.gpo.gov/fdsys/pkg/CREC-2015-05-21/pdf/CREC-2015-05-21-pt1-PgS3246.pdf#page=1>>
- (3) このうちイノウエ、ミンク、ミネタの3名は日系米国人である。
- (4) オニヅカも日系米国人である。